

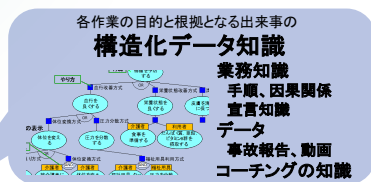
人の知識と知恵、人間力を拡張：データ知識構造化ベースの対話AIに向けて

西村拓一, 吉田康行, 押山千秋, 伊集院幸輝, 村田ちさえ, 飯野なみ, 田脇祐太, 林勇輝, 小早川麻衣子
産総研HARC サービスインテリジェンス研究コミュニティ

◆ 研究目標：知識構造化基盤技術の構築

• データと知識を融合、構造化

- 行為の目的知識を理解
- 状況適応力の向上
- 根拠データにより納得
- 行動変容



◆ 成果

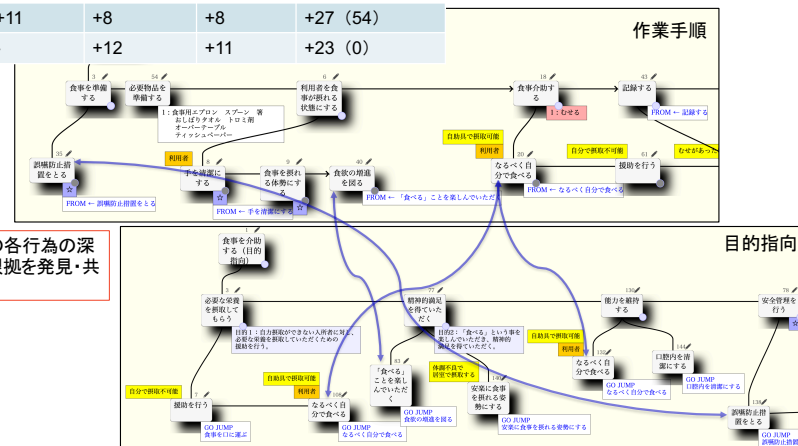
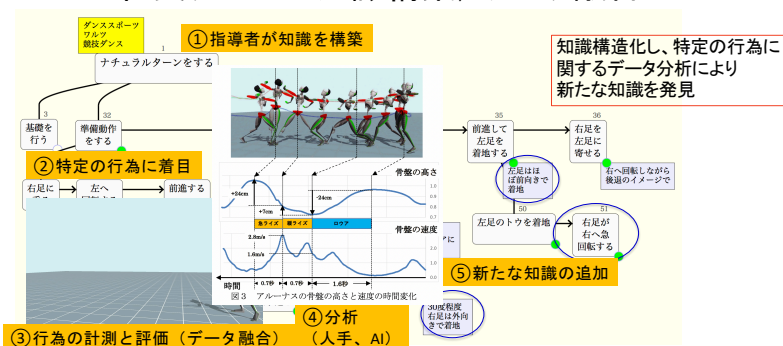
1. 介護分野における作業手順の知識構造化, 行為のオントロジー構築 (来村研と連携), 介護行為のリスク削減
2. ファシリテータによる知識構造化ワークショップの実践



ファシリテータ
新人従業員
ベテラン従業員 (サブファシリテータ)
作業手順知識
本ワークショップの定例化
ファシリテータ育成により
効果を最大化
目的指向知識

	4月実施	5月実施	6月実施	合計 (実施前)
作業手順知識	+11	+8	+8	+27 (54)
目的指向知識	-	+12	+11	+23 (0)

3. 社交ダンスの知識構築, データ融合



作業手順の各行為の深い目的や根拠を発見・共有

